

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	入居者の平均年齢の高齢化(90歳)や厳しい暑さや寒さなど環境の変化を受け外に出ることが減ってきている。	たとえ短い時間でも外の空気を吸い季節感を感じたり、仲間同士で出掛け地域の方々と一緒に馴染みの関係を作って行きたい。	散歩を主として、買物、理美容院、外食や車でのドライブなどの機会を作りだし、外に出ることを主眼として活動していく。生き生きと生活をし、更なる元気で長寿を目指したい。	6ヶ月
2	35 (13)	災害時における対策を永続的に進めて行く必要がある。	避難訓練、マニュアルの整備、備蓄品や地域との関係をより強めて行きたい。	引き続き運営推進会議で協議を進めて行く。また、夜間を想定した訓練に重きを置き職員の招集訓練や夜間帯の環境の把握など、より実践的な訓練を反復し行っていきたい。	6ヶ月
3	14	他施設間との交流により、ホームの活性化を図り、より一層のサービス向上に繋げて行きたい。	一昨年より行っている他施設との交流をより活発化し、職員の研鑽に資するよう努め、サービスの向上に繋げて行きたい。	数カ月に1回であった施設間交流の頻度を増やし、参加施設も増やして行きたい。職員間の相互の職場体験などへも繋げ、ホームのサービスの向上を目指したい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。